

誰のための、 何のための建築創造か

萩原正道著／東洋書店
A5判並製232頁／1995円(税込)

地域に根ざし、そこに暮らす人々
のために生きる鮮烈な建築家像



【目次】

まえがき 深く広がる建築の仕事 (本多昭一)

第1章 建築人としての目標

地域の生活者とつながる建築活動

第2章 地域に育まれる建築人——地域に根ざす設計事務所の役割と機能

- 1 地域に根ざす建築活動
- 2 生活者の要求に応えながら——地域に根ざす建築活動の現在の到達点
- 3 コミュニティベースの空間づくり——地域に根ざした建築活動を進めて
- 4 中小設計事務所のあり方をさぐる——多様化する活動と業務
- 5 設計事務所の協同について
- 6 まちを改善するコモン仕事とその報酬
- 7 「協同」の理念で21世紀の展望を

第3章 象地域設計での実践

- 1 コーポラティブハウス
(1) 下町再生への試み——十方舎
(2) 地主共生型の賃貸型コープ住宅——コミュニティコーポ“あるじゅ”
- 2 共同建替え
(1) 地域暮らし オクタビア・ヒルの地
(2) 二人でつった共同住宅——ステーションラフ
- 3 まちづくり
(1) 住民が主体となるパートナーシップ型まちづくり——江古田まちづくりプロポーザル提案文書
(2) 共同建替えと子どもの声が聞こえる住環境づくり
- 4 施設づくり
(1) 分譲マンションの二階に入った保育園——どんぐり保育園
(2) 近隣への騒音対策を重視した鉄骨造のリハーサル室——労音会館
- 5 住まいづくり
(1) 短勾配の家——S邸
(2) 家族のかかわり合いをたいせつにする住まい——多世帯住宅実践例
(3) コレクティブハウスのようなルールで暮らす三世帯住宅
- 6 技術者の立場からみたマンション問題と修繕計画の必要性

第4章 建築と社会とのかかわりに対して

- 1 地域と住宅設計活動
- 2 建築の耐久性と建築廃材問題を考える
- 3 暮らしをおびやかす建築市場の拡大策
- 4 誰のための、何のための建築創造か

第5章 建築に携わる人に伝えたいこと

- 1 建築技術者のあり方への模索
- 2 民衆と建築との緊張感——「屏の糸」に学ぶ
- 3 建築と社会を弁証法的に考える

附 萩原正道の足跡

本書出版に至る経緯 (三沢浩)
大手建設会社時代の活動
住民相談の経験から
萩原正道＋象地域設計／仕事一覧
萩原正道年譜

おわりに 私の中の萩原正道 (萩原幸)